

グローイング・ フロンティア株式 ファンド

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：Gフロンテ株

2023年6月27日から2024年6月26日まで

第7期 決算日：2024年6月26日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、フロンティア諸国の株式等へ投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額 (期末)	18,877円
純資産総額 (期末)	3,892百万円
騰落率 (当期)	+40.0%
分配金合計 (当期)	150円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について (2023年6月27日から2024年6月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	13,590円
期末	18,877円 (既払分配金150円(税引前))
騰落率	+40.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

投資信託証券への投資を通じて、主としてフロンティア株式市場の上場株式等に投資しました。実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 期を通じてみるとベトナム、カザフスタン、モロッコなどの主要フロンティア株式市場が上昇したこと
- 期を通じて円が対米ドルで大きく下落したことで、多くのフロンティア市場の通貨が円に対して上昇したこと

1万口当たりの費用明細 (2023年6月27日から2024年6月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	178円	1.130%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は15,790円です。
(投 信 会 社)	(52)	(0.330)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(122)	(0.770)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.030)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	147	0.933	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.002)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(146)	(0.924)	そ の 他：組入れファンドの管理報酬等
合 計	326	2.064	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

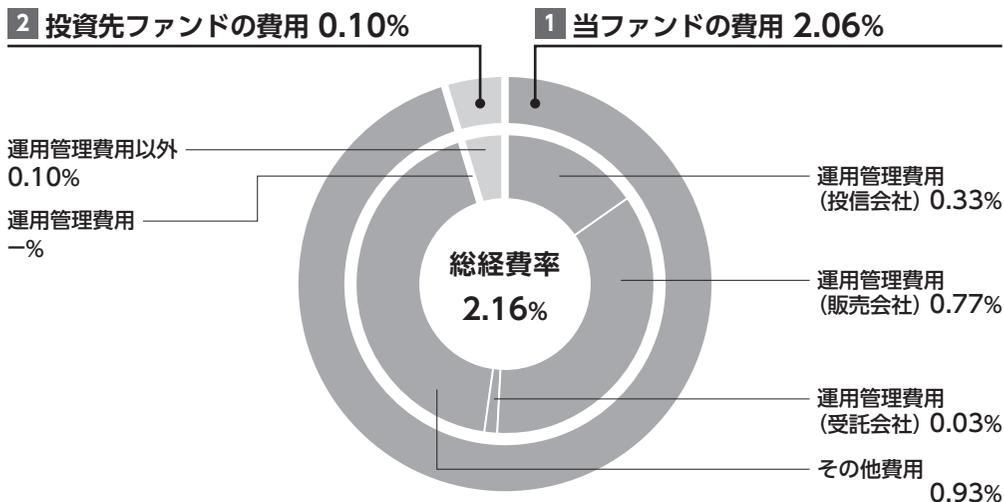
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)		2.16%
1	当ファンドの費用の比率	2.06%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

※1の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。その他費用には投資先ファンドの管理報酬等が含まれています。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。ただし、投資先ファンドでの運用管理費用は、当ファンドの費用の中から負担しているため、開示すべき運用管理費用はありません。

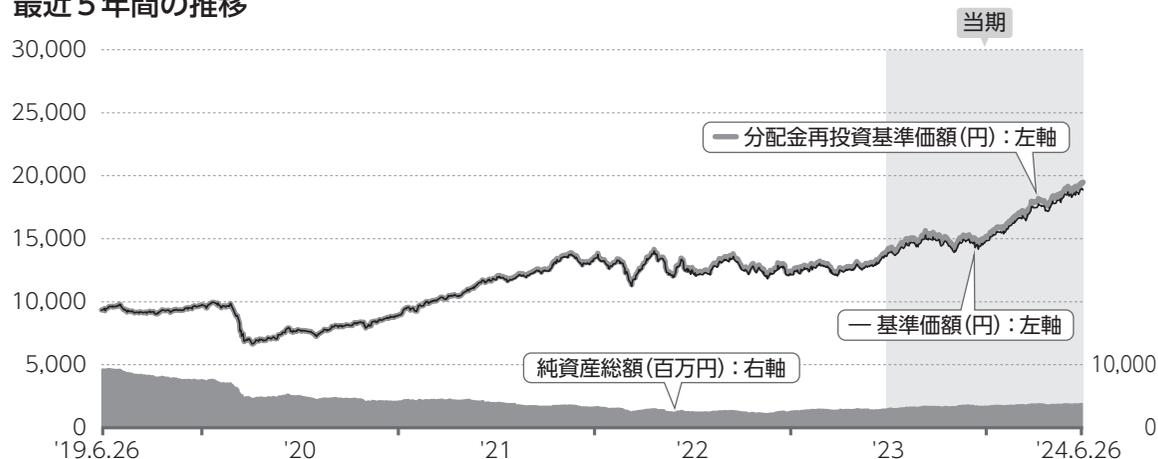
※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.16%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2019年6月26日から2024年6月26日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2019年6月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2019.6.26 決算日	2020.6.26 決算日	2021.6.28 決算日	2022.6.27 決算日	2023.6.26 決算日	2024.6.26 決算日
基準価額 (円)	9,336	7,780	11,738	12,172	13,590	18,877
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	100	100	100	150
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	-16.7	52.2	4.5	12.5	40.0
純資産総額 (百万円)	9,447	5,204	4,042	2,572	3,027	3,892

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

フロンティア株式市場は上昇しました。また、為替市場は円が対米ドルで円安となりました。

フロンティア株式市場

期を通じてみると、フロンティア株式市場は上昇しました。

フロンティア株式市場は8月から10月にかけて下落局面もあったものの、11月から2024年4月にかけて上昇しました。主要市場であるベトナムが、堅調に推移したほか、カザフスタンが大きく上昇したことがフロンティア株式市場の上昇の主因となりました。

ベトナムは、グローバルなサプライチェーンの再構築を受け、高水準な海外直接投資からの恩恵を受けています。一方、カザフスタンはグローバルな株式市場の上昇に追随しました。

フロンティア株式市場は、4月に反汚職運動で下落したベトナムの影響を受け、下落しましたが、その後は、期末まで堅調に推移しました。

為替市場

米ドル・円相場は期初から11月にかけて、日銀による金融緩和長期化観測が強まったほか、堅調な米経済指標などを背景に、米ドル高・円安となりました。

その後、わが国の金融政策修正観測が強まったことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)による政策金利見通しの利下げ幅が拡大したことなどから、米ドル・円相場は反転し、12月にかけて米ドル安・円高が進行しました。

1月から期末にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ観測が後退したことなどから米ドル高・円安基調となりました。

一方、多くのフロンティア通貨も対米ドルでは弱含んだものの、総じて円の下落率が大きかったため、期を通じて見ると、フロンティア通貨高・円安となりました。

ポートフォリオについて (2023年6月27日から2024年6月26日まで)

当ファンド

「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)」の組入れを高位に維持しました。

ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)

主として、フロンティア株式市場の企業の株式に投資しました。主にベトナムにおける銘柄選択がプラス寄与しました。

●国別配分

主にボトムアップ(個別銘柄の調査・分析を重視するアプローチ)による組入れを積み上げた結果、ベトナム、カザフスタン、ルーマニアなどを多く組み入れました。特に、経済情勢の安定や成長確度の高さに加え、魅力的な個別銘柄が多いことから、ベトナムの組入れ比率を高めに維持しています。

●業種配分

国別配分と同様にボトムアップによる組入れを積み上げた結果、フロンティア市場の成長を享受できる金融や素材の組入れ比率を高めました。

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2023年6月27日から2024年6月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第7期
当期分配金	150
(対基準価額比率)	(0.79%)
当期の収益	150
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,877

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、「ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)」の組入れを高位に維持します。

また、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いません。

ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)

主として、フロンティア株式市場の株式等(上場予定の株式や預託証書(DR)等を含みます)に投資します。

現在のフロンティア市場は、アイスランド、バルト3国のような低債務で国家構造の強い国と、スリランカ、パキスタン、ナイジェリア、アルゼンチンのような脆弱な国へ二極化しています。2024年以降も引き続き、前者の市場リターンが継続して後者を上回るとみえています。一方、先進国株式市場に上場し、

フロンティア市場で事業展開する素材企業および資源の探鉱・開発・生産企業へも着目しています。それぞれの投資国の政治・経済状況や産業動向、個別企業などに対する徹底的な調査・分析を行い、中長期的な視点から魅力的と判断する銘柄への投資を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

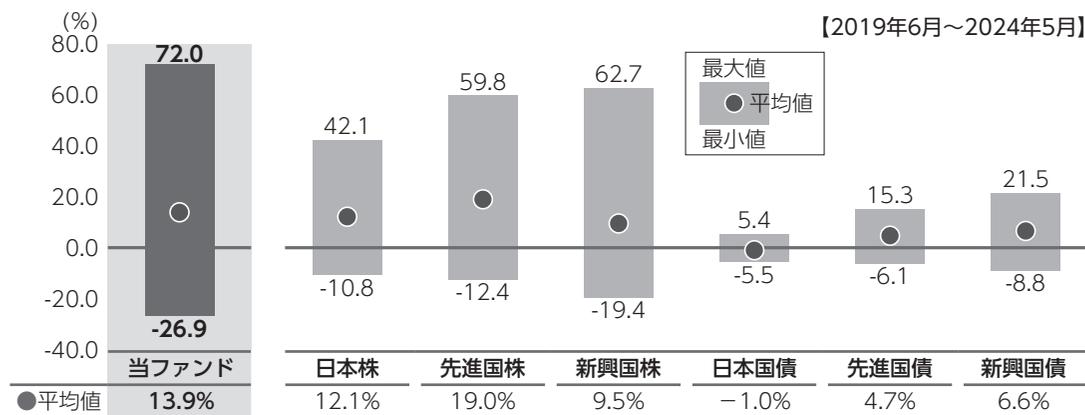
マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年6月12日から2027年6月28日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、フロンティア諸国の株式等へ投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>ティール・ロウ・プライス・ファンズ SICAV – フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て) フロンティア諸国の企業の株式等</p> <p>マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品</p>
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、フロンティア諸国の企業の株式等へ投資を行います。 ■実質的な運用は、フロンティア諸国および新興国を含む世界の株式運用に強みを持つ、ティール・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドが行います。 ■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年6月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

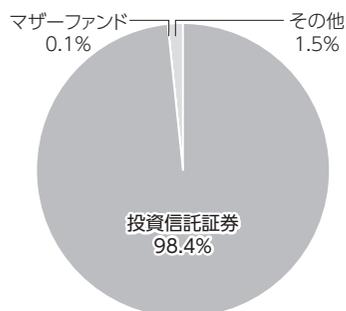
当ファンドの組入資産の内容 (2024年6月26日)

組入れファンド等

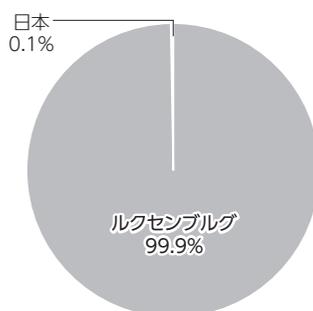
銘柄名	組入比率
ティール・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーフロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)	98.4%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%
コールローン等、その他	1.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

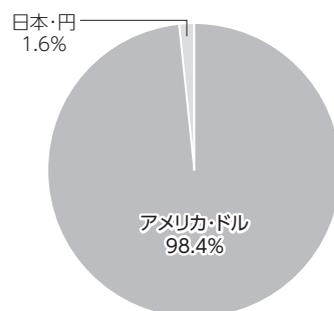
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第7期末 2024年6月26日	※当期における、追加設定元本額は548,777,949円、解約元本額は714,117,196円です。
純資産総額 (円)	3,892,728,869	
受益権総口数 (口)	2,062,140,570	
1万口当たり基準価額 (円)	18,877	

組入上位ファンドの概要

ティール・ロウ・プライス・ファンズ SICAV –フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド(クラスS、米ドル建て)
(2023年1月1日～2023年12月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「ティール・ロウ・プライス・ファンズ SICAV –フロンティア・マーケット・エクイティ・ファンド」の情報で、ティール・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドから提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(アメリカ・ドル建て)の推移



※分配金再投資ベース

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

※アメリカ・ドル建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

組入上位銘柄

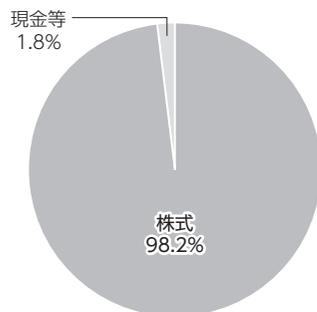
(基準日：2023年12月29日)

	銘柄名	組入比率
1	Kaspi.KZ JSC	6.6%
2	FPT	6.2%
3	Banca Transilvania	5.1%
4	Asia Commercial Bank/Vietnam	3.9%
5	Nova Ljubljanska Banka dd	3.4%
6	Omv Petrom	3.3%
7	Hoa Phat Group	3.3%
8	NAC Kazatomprom JSC	3.3%
9	Vietnam Engine & Agricultural Machinery	3.2%
10	Attijariwafa Bank	3.0%
	全銘柄数	61銘柄

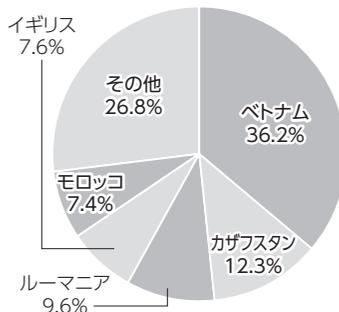
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全銘柄の情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。

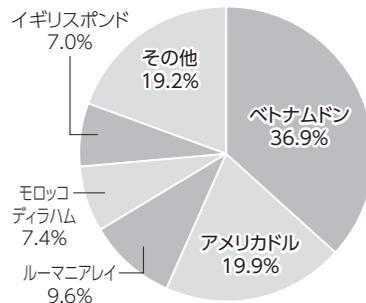
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2023年12月29日です。

1万口当たりの費用明細

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。